

図書館だより

第28号 平成25年9月25日

袖ヶ浦市立中央図書館〒299-0262 袖ヶ浦市坂戸市場1393番地2 0438-63-4646



10/27～11・9 は秋の読書週間 今年の標語は「本と旅する、本を旅する」

読書週間とは？

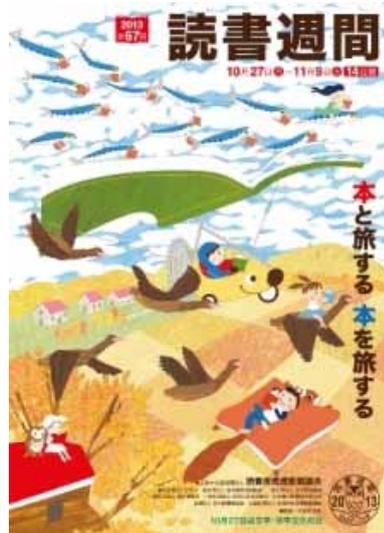
終戦の2年後の1947年(昭和22年) まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)となったのは、第2回からです。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

☞ 2面からは読書週間に合わせ、図書館職員のおすすめの本を特集していますのでぜひご覧ください。



トショロの図書館探訪

知ってますか？レファレンス・サービス ～中央図書館～

中央図書館では、レファレンス・サービスを行っています。レファレンス・サービスとは、一言でいうと「調べ物のお手伝い」です。情報を求めている方に、調べている事柄の事実関係がわかる資料を提示したり、文献探しのお手伝いを行います。読書に関わる相談はもちろん、どんな事柄でもお気軽におたずねください。

その場で回答できない場合は、質問をおあずかりして後日に回答いたします。

回答できない場合もあります。(問題集や宿題の答えを教えたり、病気の診断などはできません。

ただし、参考となる資料探しのお手伝いはいたします。)

たとえば、こんな疑問にお答えします！

ルバーブのジャムの作り方を調べたい。

千葉県しょうゆの生産量がわかる資料はある？

小学生の体力測定の結果の統計の推移を知りたい。

調べもの相談は
図書館へどうぞ！



本で旅してみませんか？～秋の夜長に読みたい本～



秋の読書週間の標語「本と旅する、本を旅する」にちなんで、「旅」をテーマにした図書館職員のおすすめ本を紹介します。

印の「請求記号」とは？

図書館の本の背表紙下方に貼ってあるラベルの番号です。分類記号（資料の内容の種類を表す数字）＋著者記号（著者の頭文字等）からなっていて、本を探すときの手がかりになります。絵本の場合は、背表紙の黄色い丸シールに文を書いた人の頭文字が書いてあります。（電算上では、絵本の場合は「E」＋文を書いた人の頭文字になっています。）

お探しの本がある場合は、お気軽にカウンターにおたずねください。

【一般書】



「西南シルクロードは密林に消える」高野秀行／著 講談社

◆請求記号 292タ（中央・長浦で所蔵）

最古の通商路といわれる「西南シルクロード」を陸路で踏破すべく、中国・成都からビルマ北部、インド・カルカッタへ……。幾多のピンチに見舞われつつ、無許可で国境を越え、反政府ゲリラの協力を得てジャングルの中を進む。過酷な旅の中で出会う様々な出来事や、現地の人々の姿が独特のユーモアある文章で描かれています。昼行灯のカチン軍将校との間に「誠に地味な友情がそっと花開いた」ときには思わず笑ってしまいました。奇想天外な旅行記、たいへん密度の濃い一冊です。



「北の無人駅から」渡辺一史／著 北海道新聞社

◆請求記号 302ワ（中央で所蔵）

前作「こんな夜更けにバナナかよ」で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した著者が、8年以上かけて取材したというルポルタージュです。北海道の6つの無人駅を起点に、周辺地域の人々の暮らしと歴史を丁寧に掘り下げていきます。北海道の地方に生きる人々のリアルな姿から、「地方」の直面する様々な問題が見えてきます。本の分厚さ（4センチ！）に圧倒されますが、引き込まれてあっという間に読了しました。



「旅行者の朝食」米原万里／著 文藝春秋

◆請求記号 596ヨ（中央・長浦・平川で所蔵）

少女時代をプラハで過ごし、ロシア語同時通訳として活躍した著書の、食にまつわるエッセイ集。ロシア人がその名を聞いただけで笑いだす「旅行者の朝食」とはいったい何か？魅惑のお菓子「ハルヴァ」とは？ロシア、東欧圏の食事情から神戸食い倒れの旅まで、小気味よい語り口と豊富なウンチクが楽しい。お腹が空いている時に読むのはたいへん危険です。



「天涯 第1」沢木耕太郎／著 スイッチ・パブリッシング

◆請求記号 748サ1（中央・長浦で所蔵）

ノンフィクション作家として知られる著者が、自らカメラを携えて旅の途中で切り取った風景に、有名な小説の引用や、著者自身の文章などのキャプションが添えられています。著者は、砂漠に足を踏み入れたその時から「天涯」という言葉が自然に浮き出てきたといいます。この写真集は自らの写真を「石」と表現し、天涯の下に転がっているその「石」の一つ一つを写し取った旅の軌跡とも言えるものです。文庫版も所蔵しています。（B748サ-1 中央で所蔵）



「大木家の楽しい旅行 新婚地獄篇」前田司郎／著 幻冬舎

◆ 請求記号 913.6マエ (中央・長浦で所蔵)

4年の同棲生活を経て結婚した咲と信義。最近ややマンネリ気味な二人は、盗まれた炊飯ジャーに導かれ(?)地獄へ泊二日の新婚旅行へ行くことに……。温泉行きたいね、地獄なら空いてるんじゃない?そんなノリで地獄行きを決めてしまうこの夫婦、地獄で怖い目にあってもわりと冷静です。地獄の世界観の面白さと2人のゆるさが絶妙なバランスで、現実離れしているのに妙なりアリティがあります。こんな地獄なら行ってみたい。おかしくてせつないファンタジーです。

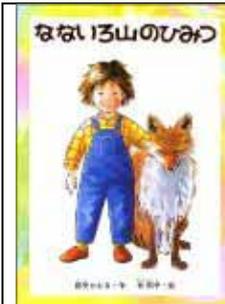


「幸田文 旅の手帖」幸田文／著 平凡社

◆ 請求記号 914.6コウ (中央・長浦・平岡で所蔵)

著者の娘、青木玉さんが編纂した「幸田文の言葉」シリーズ5冊目。幸田文さんの多くのエッセイの中から旅にかかわるものをまとめた随筆集です。それぞれの随筆に初出年とそのときの著者の年齢が記されています。若い頃の、父・幸田露伴との旅から晩年になっての旅まで、それぞれ趣が違う魅力があります。主に1950年代から70年代に書かれたものですが、今読んでも全く古さを感じません。美しい日本語に浸りたいときはぜひ。

【児童書】



「なないろ山のひみつ」征矢かおる／著 福音館書店

◆ 請求記号 913ソ (全館で所蔵)

なないろ山のふもとに住むさちは、ある日なないろ山のとっぺんが赤く光っているのを目撃します。なないろ山に大変な事が起きている!おばあちゃんのかわりになないろ山を救おうと、さちはじいさんぎつねのもとへと向かいます。

スピーディな展開が楽しい、幼年向け冒険ファンタジー。林明子さんによる美しい挿絵も必見です。



「リンゴのたび」デボラ・ホプキンソン／著 小峰書店

◆ 請求記号 Eホ (中央・長浦で所蔵)

住みなれた土地を離れて、はるか新天地オレゴンを目指す私たち家族。でも大事なリンゴの木を残してなんかいけない!馬車に苗木をぎっしり積んで、いざ出発。行く手には川、大風、砂漠……。果たして大事な苗木を守りぬけるか?たよりないお父さんとそれを支えるしっかり者の娘デリシャスの奮闘が、躍動感のある絵とともに描かれます。実話をもとにした、開拓時代のアメリカの家族のおはなし。

INFORMATION

図書館の資料は、大切に扱ってください。

図書館の資料は、大切な市民の財産です。なるべく多くの方にきれいな状態でご利用いただくためにも、大切にお取り扱いください。

資料を汚したり、破損してしまった場合はカウンターにお申し出ください。図書館で修理いたします。(セロハンテープなどは貼らず、そのままカウンターにお持ちください。)

図書館で補修できないくらいの汚破損については、弁償していただくことがあります。

その際は、同じ資料を購入して納めていただくこととなります。

絶版本など、購入が難しいものもありますので、まずはカウンターにご相談ください。



📖 図書館ニュース

図書館では、本の貸出以外にも、おはなし会や映画会、文芸講座など、さまざまな読書普及事業を行っています。7月～9月に行った事業をピックアップして紹介します。

文芸講座「南総里見八犬伝の魅力」

図書館では、その作品や時代についての理解を深めるために、専門の講師に文芸作品について講義していただく文芸講座を毎年開催しています。

今年度は千葉大学文学部教授の高木 元（たかぎ げん）氏を講師に迎え、「南総里見八犬伝の魅力」をテーマに9月に全4回の講座を開催しました。房総にもゆかりの深い作品だけに、市民の方の関心も高かったようです。

それぞれ「八犬伝の世界」「伏姫の物語」「八犬士の結集」「八犬伝の末裔」と題し、多くの視覚的資料を用いた講義が行われました。約50人の受講者の方々は熱心に講義に耳を傾け、終了後に講師に質問をする姿も見られました。



南総里見八犬伝のふるさと・鶴山

なつやすみとしょかんであそぼう



8月7日（水）に長浦おかのうえ図書館で「なつやすみとしょかんであそぼう」を開催しました。

今年度のプログラムは 親子いっしょのおはなし会 わらべうたであそぼう つくってあそぼう（工作） 大型えほんとおはなし会でした。のべ154人のお子さんや親子連れの方が参加してくれ、読み聞かせに耳を傾けたり、竹とんぼ型のおもちゃづくりに挑戦したりと楽しい時間を過ごしました。

職場体験学習の受け入れ

8月、近隣の各中学校の生徒さんたちが、職場体験学習のため図書館にやってきました。カウンター業務や書架整理など、様々な業務を体験してもらいました。

利用者の皆さまには、あたたかいご理解・ご協力ありがとうございました。



図書館・図書室の開館日 ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

開館時間 中央・長浦おかのうえ・平川図書館 午前9時30分から午後6時まで（10月～3月）
根形・平岡公民館図書室 午前9時30分から午後5時まで（通年）

図書館の休館日

10月の休館日	7日（月）、21日（月）、28日（月）、31日（木）
11月の休館日	11日（月）、18日（月）、25日（月）、29日（金）
12月の休館日	2日（月）、9日（月）、16日（月）、27日（金）～1月4日（土）



10月から来年3月までは中央・長浦おかのうえ・平川図書館の閉館時間が午後6時に変更になります。